

◆折尾地区総合整備事業に取り組む新体制です！

事業の本格化にともない、今年4月に新たに5名の職員を迎え、「折尾総合開発事務所」の体制が強化されました。

土地区画整理事業を担当する「建築都市局折尾総合開発事務所」と、連続立体交差事業と街路事業を担当する「建設局自動車専用道路対策室」の2つの課、総勢15名で、これまで以上にきめ細やかな対応を行って参りたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

折尾総合開発事務所

建築都市局折尾総合開発事務所 (区画整理・事業調整)

主幹 崎田一彦	所長 吉田守行
主査 野口崇彦	主査 古野 徹
日吉浩司	主任 高牧敏幸
野田 巧	主任 山口清隆

事業調整担当
折尾地区総合整備事業に係る関係部署との連絡調整を担当しています。

建設局自動車専用道路対策室 (第五・四区)

主幹 長瀬幸三
主査 川本一成
主査 南 幸昌
藤本 敦
主任 小方英生
有馬直隆
森 淳一

街路担当
街路に係る調査、設計などを担当しています。

建設担当
建設に係る調査、設計などを担当しています。

事業に関する相談や質問、また、事業に関する以外でも、日常生活でお困りのことなど、お気軽に下記のとおり相談ください。

◆今年度の事業予定です

事業の推進については、協力いただきありがとうございます。

① 折尾駅前周辺連続立体交差事業

昨年度は、国道3号の交差箇所付近の用地補償や測量・調査、また、西折尾地区から国道3号交差箇所にかけてのトンネル部の設計を行いました。今年度には、西折尾地区のトンネル部の工事着手する予定にしております。現在工事に関してJR九州及び関係機関との協議を行っています。工事に関しては、関係する皆様に説明を行う予定にしています。

② 折尾駅前周辺街路事業

昨年度は、北口駅前広場周辺及び折尾ずい道付近の事業認可区間の測量を実施しました。現在、先行的に北口駅前広場の家屋調査を進めており、一部の方々と用地交渉を行っています。今年度も、引き続き北口駅前広場を中心に、事業認可区間の建物調査を行いながら、本格的に用地交渉を進めることとしています。

③ 折尾土地区画整理事業

折尾土地区画整理事業の事業計画案ができました。幅広く意見を聴くため、地権者に限らず、ご意見でも、案の説明を行っていますので、折尾総合開発事務所にお越しください。



◆「おりお未来21協議会」が発足しました

住みやすく、魅力的で楽しいまち「折尾」をつくりあげるため、4月20日に「おりお未来21協議会」が設立されました。協議会は、まちづくりの主体である住民の方が自分たちで考え、勉強し、意見を集約して、まちづくりに取り組むため、これまで、まちづくりに取り組んできた、さまざまな団体がひとつになって発足したものです。北九州市も協議会や住民の皆様から様々な意見をいただきながら、協働して、折尾地区のまちづくりに取り組んでいきます。

ご相談・ご質問は

北九州市 折尾総合開発事務所
住所：〒807-0825 北九州市八幡西区折尾四丁目8番18号（旧折尾警察署跡）
電話：093 (602) 3108 FAX：093 (602) 3128
HP：http://www.city.kitakyushu.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=6302
e-mail：toshi-orio@mail2.city.kitakyushu.jp

裏面も
ご覧下さい

折尾近辺のおもしろ探検

今年で17回目をむかえる「折尾まつり」が、去る6月3日(土)・4日(日)、折尾西公園をメイン会場に行われました。この街ならではの雰囲気味わえる、地域のまつりにおじゃましました。

第17回折尾まつり

地域に広がる笑顔と交流の輪

「折尾まつり」とは？

学園都市として若者が集う街・折尾の、地域のまつりとして平成2年にスタート。地元企業と学校、商店、自治連合会が協力して実行委員会を組織し主催しており、学生の参加が多く国際色豊かなまつりとして地域に定着しています。「大学の学園祭実行委員になる新入生が毎年かわり、地域にとけ込むいい機会になっているようですね」と、実行委員長の柳野さん。若者と地域の方との交流を深める役割も果たしているようです。



■国際屋台村

思わず「これは何？」と足を止めてしまう料理の数々。まつりの名物の一つでもある国際屋台村には、イタリア・タイ・モンゴル・メキシコなどのめずらしい料理が並んでいました。「美味しいですよ！いかがですか」とメキシコのナチョスを売るカリナ ナさんは、折尾へ来て1年ほど。8月には故郷に帰るそうです。この他、韓国のチヂミや冷めん、キムチ、中国の水餃子などすべて留学生やスタッフの手作り。あっさり味の冷めん、とても美味しかったです。



■朝鮮の歌と踊りと演奏(九州朝鮮中高級学校生徒)
訪さ迎えるような歌声と華やかな衣装で朝鮮の踊りを披露してくれたのは、会場のお隣にある九州朝鮮中高級学校の生徒の皆さん。フルートの許理和(ほりわ)さん(高級学校2年生)は、「あまり緊張せずにでき、ほっとしています」と演奏後、笑顔で話してくれました。



■中国の歌と踊り(中華女子学院派遣留学生)
九州女子大学の中国人留学生たちによる歌「川」の流れのように、日本語と中国語を織り交ぜての熱唱。そして、チャイナドレスに身を包み見事な踊りを披露してくれたのは、甲斐南(しんなん)さんと魏然(ぜぜん)さん。大学では1年間、幼児教育を勉強しているそう。



■ラテン音楽&サルサ(リチャード&サポールラティノ)
ペルー出身のリチャードさん率いるバンド「サポールラティノ」によるラテン音楽とサルサのステージ。ダンサーによるサルサの指導もあり、参加者がステージ前で踊るシーンも。「リズムに合わせてステップ!腰を振ってワンズスリー、ワンズスリー」。



■折尾神楽(折尾神楽保存会)
夕陽に包まれる頃、ステージ上で振り広げられたのは折尾神楽保存会による荘厳な神楽の世界。テンポが速く動きの激しい折尾神楽は見ごたえ十分。舞い手の一人、折尾愛真高校3年生の篠原さん「伝統芸能を美しく舞うことがうれしい」。



■沖縄エイサー(九州共立大・九州女子大同短期大学沖縄県人会)
沖縄エイサーは、今や「折尾まつり」の代表的な出し物の一つ。九州共立大学・九州女子大学短期大学沖縄県人会の若者総勢49名。軽快な三線と力強い太鼓の音、笑顔あふれる女踊りと盛り上げ役のサンダーとの息の合った踊りに、会場中が一体となった瞬間でした。



■園児演技(さかえ保育園/LITTLE POPINS)
ステージ狭しと元気いっぱいに踊ってくれたのは、さかえ保育園のLITTLE POPINSの子ども達。「青春アミーゴ」、「鉄腕アトム」、「楽しいね」のかわいいマーチングに、会場に訪れた人たちが笑顔に。小太鼓担当のさとし君は「練習とおりにできたよ!」、うれしそうでした。



■琴演奏(則松中学校琴部)
このステージにむけて週5日練習を続けてきた、則松中学校琴部の2・3年生14名。「春の小川」他2曲、心に染み入るような琴の音を奏でてくれました。「屋外での演奏は風がありやりにくい面もありますが、皆さんの前で弾けるのは嬉しいです」と、部長の山口さん。



■司会担当は大学生!
北九州市立大学2年生の黒瀬さんは、3日前半の司会を担当。1年生の野添君と2人で進行のお手伝いをしていました。「参加することで地域とかかわりがもてる貴重な体験です。エイサーを間近に見ることもできて、感激しました」。
3日後半の司会は九州共立大学の岩城君、三角君、4日の司会は九州女子大学の山本さん、藤田さん、後藤さん、大石さんでした。

来場者・参加者インタビュー

九州共立大学3年・中田君
イベント以外でも留学生の日常の暮らしをサポートするボランティア活動をしている。九州共立大学3年生の中田君。「自分自身、オーストラリア留学中に困ったり助けてもらった経験があるので、少しでも役に立てればと思っています」。



小倉南区の橋本さん夫婦
今年で3回目という小倉南区の橋本さん夫婦は、「多彩な演芸が楽しみで、毎年見に来るんですよ。ここのまつりは若い人が多く、パワーがあつていいですね」と、観客席の最前列でステージを熱心に観望していました。



芦屋の高橋さん兄妹
「子どもが赤ちゃんのころから来ているので、もう7・8回目になるでしょうか。最初来たときはエイサーの迫力に驚いて泣いていましたが、年々見方が変わってきて、今では楽しんでます」と、お母さん。



取材後記

翌4日(日)はダンスコンテストで始まり、ジャンケン大会決勝、子どもたちの大ビンゴゲームなどが行われ、後半は太鼓の演奏や沖縄エイサー、そして13団体総勢330人以上による総踊りでクライマックスへ。最後はお楽しみ抽選会もあり、ラッキーな豪華賞品を引き当てた人もいました。2日間天候にも恵まれた今年の「折尾まつり」には、約3万人+犬13匹(主催者発表)の参加があったとか。この街のパワーと魅力に触れることができたまつりでした。